

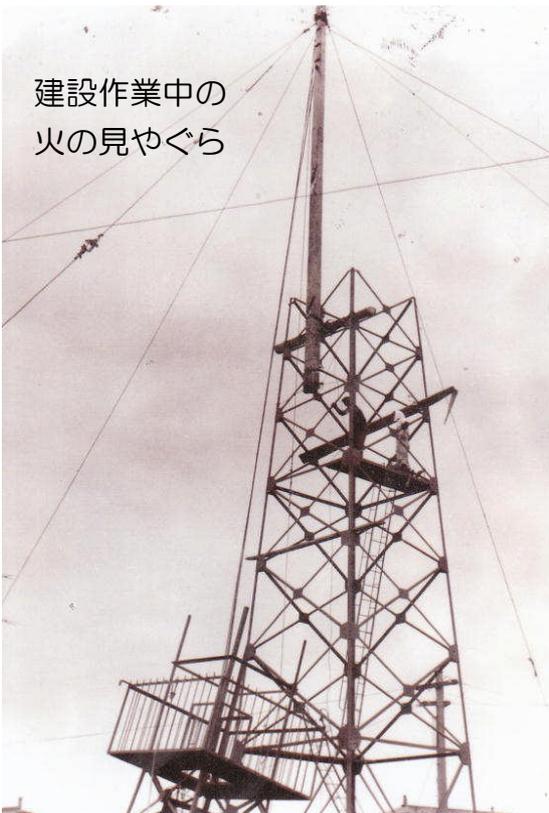
あのときの常呂・写真館

VOL 69

(1978年)

昭和53年7月9日 旧消防本部の火の見やぐら撤去

建設作業中の
火の見やぐら

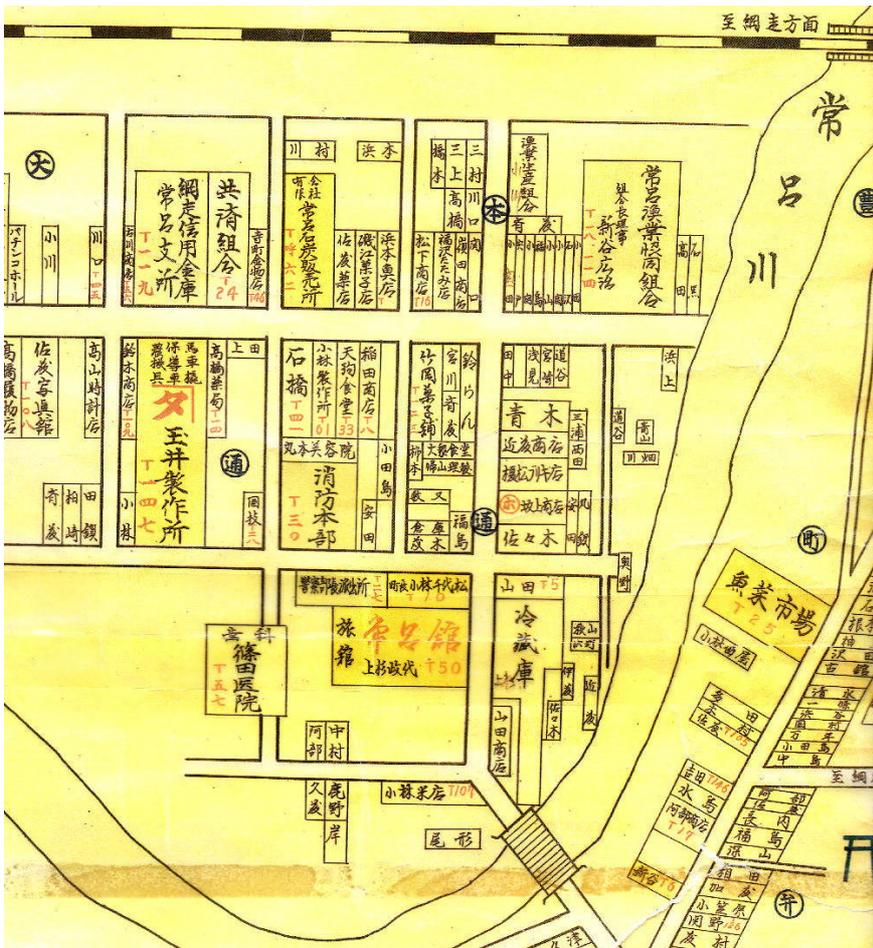


▶昭和26年11月、本通りに木造2階建ての消防本部が完成します。消防自動車4台分の車庫を備え、事務は役場庁舎でしていたこともあり、「消防番屋」とも呼ばれていました。現在の公衆浴場「寿湯」(常呂町字常呂281番地)の場所にありました。

▶火の見やぐらの撤去を伝える「広報ところ」の記事をまとめると、火の見やぐらは、昭和28年に建てられたもので、高さ20mの鉄骨造り。消防庁舎の新築移転(昭和45年11月15日)と老朽化により不要となったため、取り壊しになりました。この日、午前7時から作業が始まり、大型クレーン車で吊り上げ、消防本部の前に横たえられました。その後、ガス切断機で90cmほどに切断され、トラックで運び出されたとのことです。

旧消防本部と4台の
消防自動車



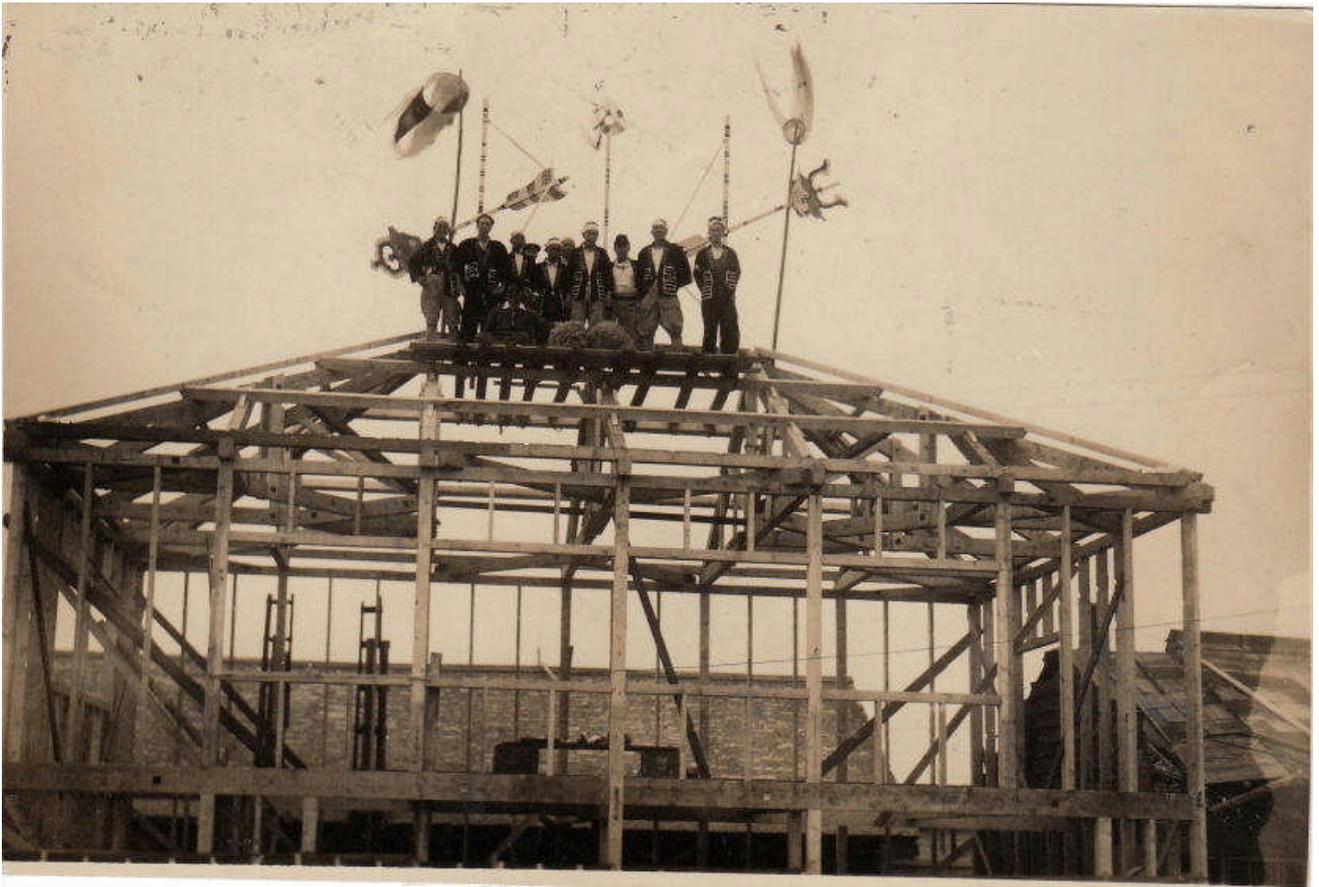


*左：昭和29年の「常呂町市街案内図」

図の中央に消防本部、その下の方に篠田医院、常呂館、最初の常呂橋などが記載されています。

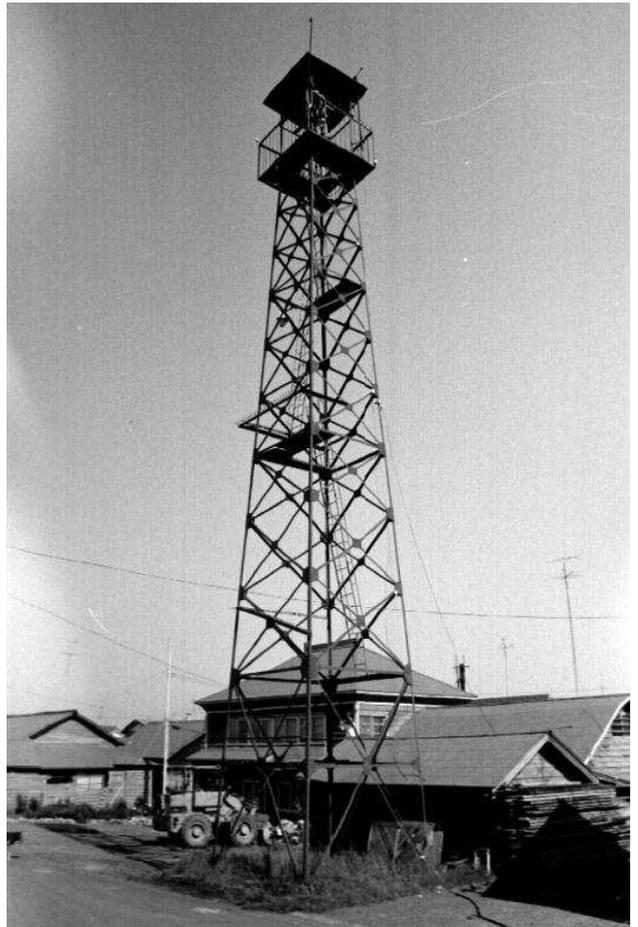
*右：完成当時の火の見やぐら





上：昭和26年5月の消防本部上棟式
下：昭和40年頃の消防本部と火の見やぐら





火の見やぐらの撤去作業のようす

